

志津南地区防犯マップ



この地図は、大人と子どもが一緒にまちを歩き、犯罪に強いところ、犯罪に弱いところをチェックしてまとめたものです。犯罪に強いまちづくりを進めるためには、自分たちのまちに関心を持ち、まちの良いところ、犯罪に強いところをたくさん増やすことが大切です。

未来を担う子どもたちが安心して暮らせるまちを目指し、犯罪のない明るいまちづくりを進めましょう。

防犯啓発活動
10月地域安全まちづくり月間では、スーパーの買い物客に防犯意識の高揚を呼びかけています。

歩道
歩道が狭くてガードレールがないため、車やバイクを使う犯人が歩行者に近づきやすいので注意しましょう。

掲示板
ポスターがはがれることなく、きれいに管理されている掲示板。

抜け道
町と町をつなぐ抜け道は近道をするのに便利ですが、林の中は周囲から見えにくいで注意しましょう。

空き地
背の高い雑草が茂っていて、中は見えにくくなっています。不審者に連れ込まれたり、隠れ場所になる恐れもあります。

ゴミ集積所
ゴミの散乱もなく、常にきれいなゴミ集積所。

りょうぶの道
朝の散歩は気持ちいいですが、人通りが少ないので、夜間の一人歩きは注意しましょう。

道路
近くに民家がなく、人通りも少ないので、犯行に都合の良い場所といえます。一人歩きは注意しましょう。

坂道
道が細く壁に囲まれ死角になっています。いざという時、逃げ道が少ないので注意しましょう。

スクールガード
毎朝、地域の大人の方が登校を見守っています。

あいさつ運動の看板
犯人が犯行をあきらめる最も大きな理由は近所の人に声をかけられることです。「目を合わせ、かける一声、私から。」

夜間暗い道
夜間は暗くて人通りが少ないので、一人歩きは注意しましょう。

トイレ
公園のトイレの中は死角になっていて、逃げ道がないので、利用する前に付近に不審者がいないか確認しましょう。

若草西児童公園
樹木が茂っていて、周囲から見えにくくなっているところがあるので、遊ぶときは注意しましょう。

けいたくんとたひ丸くんがらのお願い

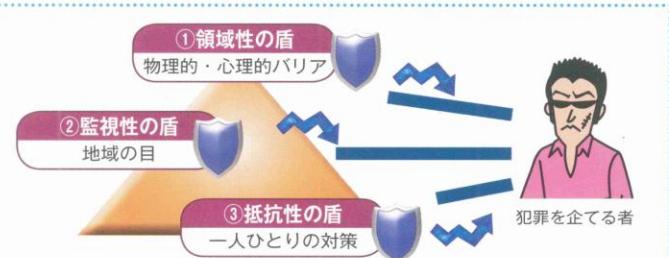
まち歩きに出かけよう!!改めてまちを歩くと、その移り変りやイロイロな魅力を発見できるんだ。
みんなでまちを歩き、まちを大好きになって、大好きなまちを守ろうね!

けいたくん

たひ丸くん

0 150 300 1:3000

3つの盾（犯罪機会論）に基づく犯罪に強いまちづくり



「見えにくい（監視性が低い）」「入りやすい（領域性が低い）」場所は危険！

犯罪機会論とは犯罪者に犯罪の機会を与えないことによって、犯罪を未然に防止しようという考え方です。見えにくく、入りやすい場所は犯行に都合の良い場所といえます。まずはこのような場所を把握し、対策を講じることが犯罪に強いまちづくりの第一歩です。

①領域性の盾 犯罪者の接近を防ぐ！

「物理的（フェンス）、心理的（地域コミュニティ）バリア」によって、犯罪者の標的への接近を防ぐ。

②監視性の盾 地域の目を光らせる！

目撃される可能性が高ければ、犯行を思い止まらせることができる。

③抵抗性の盾 一人ひとりの対策！

犯行におよんだとしても、一人ひとりの対策によって犯行を達成させない。